

## 令和6年(2024年)度事業計画

本年は第五福竜丸がマーシャル諸島ビキニ環礁での水爆実験に被ばくして70年という年にあたる。福竜丸船体が建造されてから77年、展示館が建設され船体保存が実現して48年目となる。

公益財団法人第五福竜丸平和協会は、協会定款と東京都の展示館設立趣旨にうたう貴重な木造船・第五福竜丸の実物をとおして伝えることをすすめる。原水爆の惨禍を再び繰り返させないとの願いで保存展示が実現したことを踏まえ、第五福竜丸展示館からの事業を広く都民・市民に向けて発信する。

今日、いぜんとして悲惨な戦争が続く中で、核による威嚇や核軍備の拡張などがすすめられるという危惧すべき状況がある。そのもとの、広島・長崎以後もすすめられてきた核開発・核実験による被害の大きさと広がり、**「世界のヒバクシャ」**という視点でとらえ、伝え学ぶことを重視する。

ガイド活動、様々な年齢層の来館者、海外からの見学者などへの対応にとりくむ。

インターネットを活用した発信や都内をはじめ各地での福竜丸・核被害パネル展や映画会、学校や市民向けの講演活動などをおこなう。とりわけ学校見学の促進、展示館の利用拡大をはかる。

ビキニ水爆被災70年の記念事業をすすめるとともに、2026年の展示館開館50年にむけての事業の検討を始める。展示館施設や船体、エンジン等の現況を踏まえて、東京都への報告や要請等をすすめる。

平和遺産、産業遺産としての第五福竜丸の存在とその意義を伝えるとともに、今後の保存について継続的に検討する。

### 公益法人のかなめの事業としての展示館業務

- ・ 東京都からの委託業務、第五福竜丸展示館の管理運営は、第五福竜丸平和協会のかなめの事業である。今年度の開館は307日(平日241日、日・祝日66日)となる。
- ・ 展示館来館者の安全な見学、災害などへの対応、防火に万全をつくす。
- ・ 学校見学の拡大についての取り組みをおこなう。学校や旅行者への「しおり」・来館案内などの情報発信、インターネットを活用しての来館のよびかけなど行うとともに、学校や教員とのつながりをはかる。展示館を知らせる資料として「第五福竜丸展示館紹介」の映像教材を製作し活用する。
- ・ 展示館と協会の事業を支える会員制度について検討する。

### 企画展(展示替え)等の取り組み

- 都との契約にもとづく展示替え(常設展示の一部更新や企画展の開催)をおこなう。本年最初の企画展は、7月中旬から9月末に開催する。焼津歴史民俗資料館との共同による企画展「第五福竜丸の航海と漁師たち」(仮称)を開催する。マグロはえ縄漁の所蔵資料や映像資料ではえ縄漁と漁師たちを描く。
- 秋の企画展は、10月初旬より25年1月末までを会期に「画家・山内若菜の描く被ばくと生きものたち」(仮称)の絵画展を開催する。それぞれの企画展とも関連させギャラリートーク、映画会、ワークショップ、コンサートなどをおこなう。
- 子どもたちの描く「みんなの船 第五福竜丸」絵画展を5月～7月に展示する。

### 展示パネルの活用をすすめる

- 「第五福竜丸被ばく・ビキニ事件」の展示パネル(20枚組、42枚組など)、マーシャル諸島の核被害パネル「世界のヒバクシャ展示バナーと証言パネル」の活用を広く呼びかける。映画「西から昇った太陽」や「第五福竜丸」の活用をすすめる。
- 各地での学習会や講演会の開催をよびかけ、講師の派遣や出前授業をおこなう。館内でのワークショップなどを企画する。

### 船体・エンジン等の保存のために

- 船体は建造から77年となる。内部の肋骨や内張板、隔壁等の痛みは目視で確認する限りは現状を保っているが、外板の痛みは目立つようになっている。木栓や一部の部材の落下、塗装の剥離がある。外板と外板の間が乾燥で隙間ができ、まきはだの剥離や間に入れた細い板の剥離などがある。
- 船体の維持保存を40年近く献身的に携われた日塔和彦さんが逝去された。今後の船体の維持について、船体保存委員会での専門家をはじめ、木造船について具体的に相談できる船大工などの助言・対応策なども検討する。今後の調査・対応策など検討する。

### 出版事業ほか

- 「福竜丸だより」は、展示館・(公財)第五福竜丸平和協会と賛助者・市民をつなぐメディアであり隔月の発行をすすめる。「たより」別冊として展示館と協会の活動年次報告を刊行し配布する。
- ビキニ事件の物語を、イラストを添えてSNSで発信する「第五福竜丸航海記」を25年1月まで続ける。
- ビキニ70年記念事業として映画「第五福竜丸」(新藤兼人監督)のブルーレイ・ディスクを発売し、普及する。

- ・ 第五福竜丸被ばく、ビキニ事件を伝える基本書籍『第五福竜丸は航海中』増補版パンフレットを付けての新たな普及にとりくむ。
- ・ 船の建造 70 年企画の「この船を知ろう」のパンフレット化をはかる。

#### ボランティアの取り組みなど

- ・ 展示館来館者への対応・ガイド、展示館活動への協力などボランティアの取り組みをすすめる。ガイドボランティアを募集する。
- ・ 若い世代の協力者、学生ボランティアなどを募り、ビキニ事件や核問題の学習と諸イベントへの参加をはかる。

#### その他

- ・ 展示館事務所・資料室は 1998 年に建てられ、26 年が経過する。企画展の製作物の保管、資料の収集等により、福竜丸関連の諸資料、美術品等の収納、ビキニ事件関連の資料、書籍等の収納に支障をきたす事態となっている。事務所・資料室などの現況について都に報告する。
- ・ 学生の博物館実習を受け入れる。

以上